

レファレンス

コーナー

日本人移民のあゆみー南米・ブラジル

加藤真穂

南米への日本人の集団移民は、一八九九年のペルー移民に始まる。その後一九〇八年のブラジルへの第一回「笠戸丸」移民から増加を辿っていった。これに遡り、本格的な日本人の集団移民は一八八五年のハワイ王国への移民に始まった。以降北米への移民と続いたが、一九二四年に米国がいわゆる排日移民法を施行すると、大きな流れが北米から、農業分野での労働力を必要としていたブラジルを中心とする南米へと移っていった。

二〇〇八年に移民一〇〇周年を迎えたブラジルは、現在約一五〇万人といわれる日系人が住む世界最大の日系人居住国となっている。彼らは、多民族・多文化社会の同国で、様々な困難を経て、現在では農業はもとより、政治、経済など多様な分野で幅広く活躍している。

ここでは、ブラジルを含む南米諸国への日本人移民に関する基礎的資料と、一〇〇周年を機に多くの出版物が刊行されたブラジルの日系人と日系社会に関する資料のうち数点を紹介する。

国立国会図書館・憲政資料室所蔵

のコレクションに日系移民関係資料がある。中南米諸国等の日本人移民資料館や公文書館が所蔵する明治時代以来の関係資料をマイクロフィルム撮影したものや、現地の日系人からの寄贈資料などを収集し構築されたものである。現地発行の新聞、図書、雑誌、パンフレットなどの刊行物のほか、個人の日記や書簡、写真や協同組合などの文書類から成っており、南米の日系人が辿った歴史、当時の現地事情を多面的に知るうえで貴重な一次資料コレクションとなっている。

日本人移民に関する主要な文献・資料を集めて復刻したものに『日本移民資料集』（日本図書センター一九九一年）がある。そのうち南米編は、明治時代から第二次世界大戦前の刊行物を対象にしており、渡航案内書や個人の移民体験談から学術研究書など多様な文献・資料が収録されている。また別巻には収録資料の解説や、参考文献も取り上げられており、南米移民研究のための基礎資料集として有用である。ブラジルに関するものが主であるが、メキシコ、ペルー、アルゼンチン、ボリビア、その他の地域に関する資料も収録されている。

移民研究のための文献探索ツールとして最近編纂されたものに移民研究会編『日本の移民研究―動向と文献目録』（明石書店、二〇〇八年）がある。これは一九九四年に出版された前編（明治初期～一九九二年九

月）の続編（一九九二年一〇月～二〇〇五年）にあたる。第一部では、その後の日本人移民・日系人研究の動向と展望が論じられ、文献解題も付されている。第二部は、国内で刊行された文献と、日記や名簿などの一次史料を採録した文献目録となっている。

ブラジル日系人の一〇〇年の軌跡を写真と解説でわかりやすく伝える趣旨で、ブラジル日本移民史料館・ブラジル日本移民百周年記念協会百年史編纂委員会「目でみるブラジル日本移民の百年」（風響社、二〇〇八年）が刊行された。これはサンパウロの日本移民資料館が編纂を進める移民一〇〇年史の一冊にあたる。

外山脩著『ブラジル日系社会百年の水流―日本外に日本人とその子孫の歴史を創った先人たちの軌跡』（トッパン・プレス印刷出版、二〇〇六年）では、現地邦字紙サンパウロ新聞の元記者である著者が、独自の視点で日系人社会の歴史を描き出している。初期の植民事業や日系産業組合を軸とした日系人社会の盛衰、「勝ち組・負け組抗争」にみられる戦後の混乱した日系人社会の人間模様、ブラジルの経済情勢や出国国である日本との関係性の変化などを要因に変容する日系人社会を、聞き取り証言を交えて多様な側面から浮き彫りにしている。

日系人社会の歴史、変容を理解するには社会を構成する移住者の個人史や家族史からも多く知ることがで

きる。小野政子「ほか」著『私たちのブラジル移住史』（毎日新聞社、二〇〇七年）には、戦前・戦後にブラジルへ移住した六人の女性たちの体験が克明に綴られている。過酷な環境での農業労働や、僻地での生活条件などがありのままに記され、移住の歴史を女性たちの視点から窺い知ることができる。

一九八〇年代後半になると、ブラジルの経済的混乱を背景に日系人一世、二世が就労目的で来日するようになった。さらに一九九〇年の「出入国管理及び難民認定法」の改変以降日本への移住者が激増した。この流れはかつて日本からブラジルへ渡った人々になぞらえて「デカセギ」(dekasegi)と呼ばれ、現在日本に居住する日系ブラジル人は三〇万人以上にのぼる。梶田孝道・丹野清人・樋口直人著『顔の見えない定住化―日系ブラジル人と国家・市場・移民ネットワーク』（名古屋大学出版会、二〇〇五年）は、彼らがフレキシブルな労働力として日本の労働市場に定着しながらも、不規則な雇用形態から生活様式が規定されてしまい、地域社会で「顔の見える存在」となっていない状況を、国家・市場・移民ネットワークという三つの要素から解き明かそうとしている。著者は日本の入国管理政策と移民政策の不整合に見られる制度面の問題点についても指摘している。

（かとう まほ）アジア経済研究所図書館